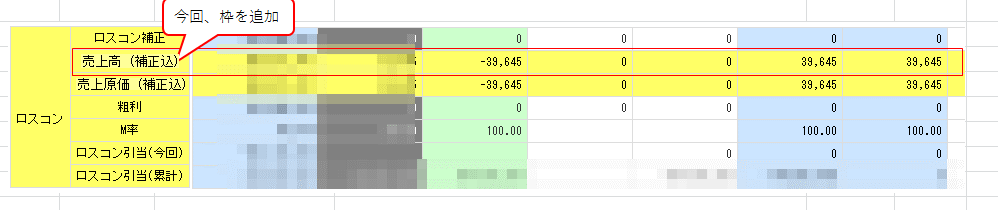
## プログラム仕様

**2018下期の変更点**

1. **ロスコン情報に項目行を追加**

画面上のロスコン情報欄の2行目に、[売上高（補正込）]の行を追加する(以下のイメージ)。



1. 注意：この行は上述イメージの見た目通り、全て黄色にする  
   (背景色の設定には、下行にある[売上原価(補正込)]と同じcssのclassスタイルを利用する事)
2. この行の各項目は、テーブル「SYU\_KI\_LOSS\_TBL」の項目「LOSS\_AMOUNT」を出力する事。  
   (金額の情報なので、右寄せ＋カンマ区切り の形式で出力する事)  
   (画面上の列毎に区分(DATA\_KBN)があり、SYU\_KI\_LOSS\_TBLからは各列に適した区分のデータを検索して表示しないとならない。詳細は本仕様書の「1.10 (3)」を参照 既存のSYU\_KI\_LOSS\_TBLの検索SQLを流用すればいけるかなと思います)
3. 画面上部にある機能メニューで、「円貨単位切替」というメニューがあるが、追加した[売上高（補正込）]についても、適切な単位になるようにすること(詳細は以下の吹き出し参照)。



機能説明(この機能を[売上高(補正込)]にも反映願います

・円であれば、この画面に表示している各金額はテーブルのデータをそのまま出力している

千円の場合、各金額を1000で割って（小数点以下四捨五入）表示している。

百万円の場合、各金額を1000000で割って（小数点以下四捨五入）表示している

1. ある条件化で本画面を開いた場合、「SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL」を検索する必要がある(定義はSYU\_KI\_LOSS\_TBLと全く同じ)ので、そのパターンの動作確認もお願いします。(表示するための条件の説明は仕様書の記載が難しいので直接教えます)

(参考情報)

※上記のロスコン欄は、SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLのLOSS\_CONTROL\_FLAG=’Y’の案件のみ表示される。

※修正対象と考えられるソースファイル

データを取得しているロジック：

S004Service.java(メソッドsetLossDataで、ロスコン情報関連のデータ取得や計算を行っている)

ロスコン情報(SYU\_KI\_LOSS\_TBL)を検索しているSQL：

src/resources/sql/S004/selectKsLossData.sql

画面表示しているロジック：

web/WEB-INF/view/S004/s004.jsp

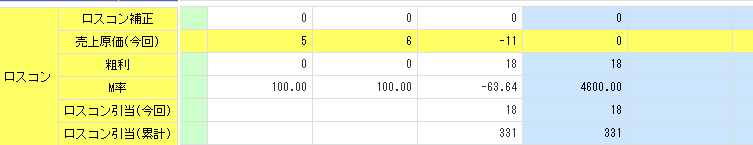
(526～556行目あたりがロスコン関連の項目タイトルを表示している)

(2780～3220行目あたりがロスコン関連のデータを表示している)

1. **ロスコン情報欄の粗利、M率の計算内容を変更**

同じくロスコン欄に、[粗利]、[M率]の情報があります。

(この欄はテーブルから直接検索しているのではなく、計算を行って出力しています。



1. (説明)粗利、M率は本システムの色々な画面で出てきますが、計算式はシステム共通仕様として以下の通りとなっています。

粗利：売上高 - 売上原価

ユーティリティクラス：SyuuekiUtils.javaのarariメソッドを利用して計算している

第1引数：売上高(SPと略称)、第2引数：売上原価(NETと略称) を指定して計算できる。

M率：(売上高 / 売上原価) × 100

ユーティリティクラス：SyuuekiUtils.javaのmrateメソッドを利用して計算している

引数の指定方法はarariメソッドと同様

※注１：売上原価が0、もしくはNULLの場合、M率は計算できないので画面上のM率もNULLで  
表示している。

※注２：売上高、売上原価は”円”単位で計算している  
(画面上部の円貨単位切替で、千円、百万円に切り替えした状態の金額で計算しないこと)

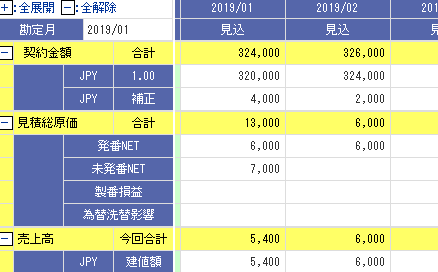
1. 現在、上述のロスコン欄の粗利、M率の計算式を以下の通りに変更する。  
   詳細は本仕様書の「1.10 (5)(6)」にも記載しているので確認願います。

ロスコン欄の粗利：

現在：売上高(今回合計) – ロスコン欄の売上原価(補正込)  
今回このように修正したい：ロスコン欄の売上高(補正込) – ロスコン欄の売上原価(補正込)

ロスコン欄のM率：

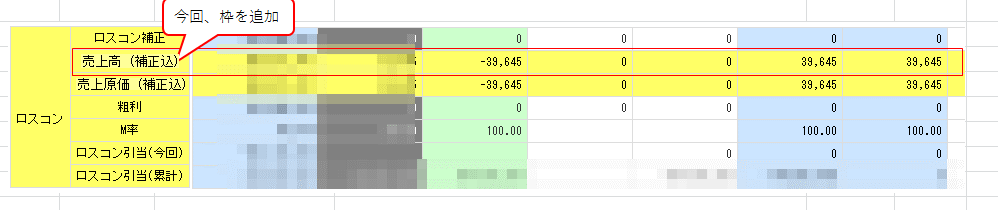
現在：(売上高(今回合計) / ロスコン欄の売上原価(補正込)) × 100  
今回このように修正したい：  
 (ロスコン欄の売上高(補正込) / ロスコン欄の売上原価(補正込)) × 100



補足：売上高(今回合計)は画面上のこの項目です

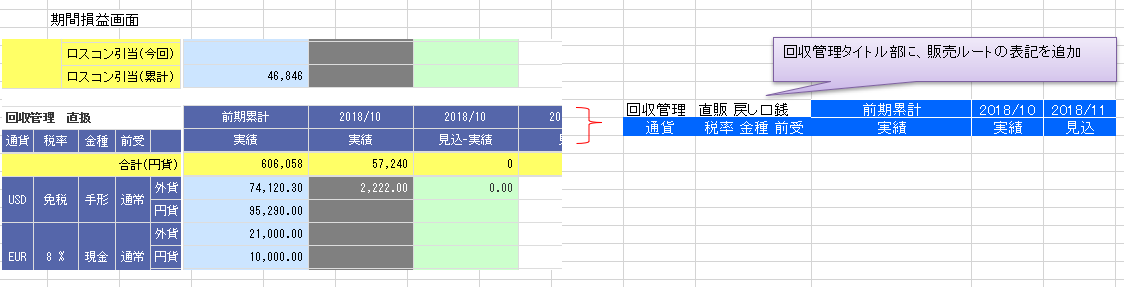
※この項目は、(SYU\_KI\_SP\_TOTAL\_TBL. URIAGE\_AMOUNT)から出力してます。

ざっくりいうと、下記の赤枠内の項目を使って青枠項目を計算して表示するようにしたいという意味です。



※修正対象と考えられるソースファイルは１と同様なので割愛します。

1. **回収欄の上部に販売ルートを表示させる**
2. 本画面の下部にある”回収管理”欄に、販売ルートの表記を追加する  
   詳細は本仕様書の「1.11 (1)」にも記載しているので確認願います。  
   (以下イメージの[戻し口銭]ってところが販売ルートにあたります)。



この項目はテーブル：SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLの項目：SALES\_ROUTE\_NMを表示する。

SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLは本画面で既に検索しているので、上記項目を出力する処理を追加すればOK。

(注意事項)

上記イメージの“直販”という場所は、固定表記ではなく取扱店(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL のTORIATSU\_NM(NULLの場合は”直扱”固定)) を表示しています。つまりTORIATSU\_NMの登録桁数によっては販売ルートが画面に表示しきれないかもしれないですが、それで構いません。

ただし、この欄にマウスカーソルを当てると、ツールチップで取扱店と販売ルートが全桁表示されるようにする。

(以下のような感じ)

Htmlタグにtitle属性を指定すればできるはず



※修正対象と考えられるソースファイル：

　　web/WEB-INF/view/S004/s004.jsp

　　画面内で、” detailHeader.ankenEntity”が取れるようになっています。

それがSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLの検索結果のentityになります。そこから販売ルート(SALES\_ROUTE\_NM)の項目を取得して表示できると思います。

1. **Excel編集の機能を改修する。**



ダウンロード、ダウンロードの機能も修正が必要です。

ダウンロードをすると、本画面と同じようなイメージのExcelを出力できますので、そこの見た目や各項目の計算を画面と同じ修正をしてもらう必要があります。

アップロードは、上述のExcel内容をアップロードして中のデータをDBに登録する処理ですが、そこも拐取が必要です。

詳細は別紙「【S004】期間損益(進行or原価回収基準)Excelダウンロード・アップロード処理.xlsx」参照。

(この部分はかなり複雑な仕様なので、上記資料をベースに直接説明します)

1. **受注管理の表示・入力欄を追加**

本画面に、「受注管理」欄の表示を追加する(以下イメージの赤枠内の項目を追加する)。



編集モード時、データの編集が可能になるので、それを編集して保存する際に、表示時と同じレコードに更新/新規登録を行うこと。

詳細仕様は本仕様書の[「1.4 初期表示「受注管理」欄の表示](#_初期表示「受注管理」欄の表示)」と、「[1.15保存ボタン押下](#_保存ボタン押下)」を参照。

##### 期間損益（進行基準） 画面仕様

###### 画面仕様

期間損益（進行基準）の仕様について以下に示します。

|  |  |
| --- | --- |
| 画面詳細 | |
| 画面名称名称 | 期間損益（進行基準）画面 |
| （１）初期表示(参照モード) | |

|  |
| --- |
| （２）編集モード |

###### 各ボタン機能

各ボタンの機能は以下の通り。

対象案件＋ログイン者の所属事業部・職種権限によりボタン表示/非表示制御を行う(後続の「[各ボタンの表示権限](#_権限について)」を参照)。上記以外でのボタン表示/非表示制御は各ボタンの説明を参照。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 項目 | 内容 |
|  | 参照モード(デフォルト) |  |
| 1 | 履歴表示 | 履歴選択画面を開き、選択した履歴keyを基に、履歴系のテーブルから取得したデータを表示する。 |
| 2 | 詳細情報 | 案件詳細情報の子画面をダイアログで表示。 |
| 3 | 機能/貨単位切替　円 | 円貨金額項目を、円貨単位：円で表示。 外貨金額項目は、少数点第3位まで表示(※1)。 |
| 4 | 機能/円貨単位切替　千円 | 円貨金項目額を、円貨単位：千円で表示。 円貨は1000で割り、小数点以下四捨五入。 外貨金額項目は、少数点第3位まで表示(※1)。 |
| 5 | 機能/円貨単位切替　百万円 | 円貨金額項目を、円貨単位：百万円で表示。  円貨は、1000000で割り、小数点以下四捨五入。 外貨金額項目は、少数点第3位まで表示(※1)。 |
| 6 | 機能/NETカテゴリ追加 | NETカテゴリ追加子画面を表示する。  この画面の詳細仕様は別紙「【S007】NETカテゴリ編集.docx」参照。 |
| 7 | 機能/見込SP(通貨)編集 | 見込SP(通貨)編集子画面を表示する。  この画面の詳細仕様は別紙「【S012】見込SP（通貨）編集.docx」参照。 |
| 8 | ヘルプ/ヘルプの表示 | 操作マニュアルのPDFを別ウインドウで表示。 |
| 9 | 閉じる | 期間損益画面（進行基準）を閉じる。 |
| 10 | 編集 | ・編集画面に切り替えを行う。 ・以下の条件を満たす場合のみ表示 →編集許可された案件 　　(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL．INPUT\_ANNEN\_FLG=’1’) |
| 11 | Excel編集/ダウンロード | ・対象案件データの期間損益進行Excelファイルをダウンロードする。詳細は別紙「【S004】期間損益(進行基準)Excelダウンロード・アップロード処理.xlsx」参照。 ・操作ログへの出力を行う。(1.7参照) |
| 12 | Excel編集/アップロード | ・Excelアップロードを行う子画面を表示。詳細は別紙「【S004】期間損益(進行基準)Excelダウンロード・アップロード処理.xlsx」参照。 ・編集ボタンが非表示の場合は、このボタンも非表示とする(データの保存処理を防ぐため) ・操作ログへの出力を行う。(1.7参照) |
| 13 | Bookmark登録/解除 | ・対象案件のBookMark登録/解除を行う。 ・詳細は別紙「【共通】ブックマーク登録・解除.doc」参照 |
| 14 | 再計算 | ・再計算処理を行う。 ※再計算フラグが「1」の場合に表示 |
| 15 | グラフ表示 | 対象事業部、注番のQlikView用グラフ表示画面を別ウインドウで開く  URL=DIVISION\_MSTから以下の条件で 対象URL(QLIK\_VIEW\_GRAPH\_URL)を取得 条件：DIVISION\_CODE=対象案件の事業部コード  　　　AND DIVISION\_TYPE=’1’ このURLに対象案件の代表注番(注番)を引数にしたURLで画面を開く。 |
| 16 | 添付資料 | 対象案件の添付資料画面(参照モード)を別ウインドウで表示（詳細は別紙「【S015】添付資料」参照） |
| 17 | 決裁/見積情報 | 対象案件に紐付されている営業見積情報の一覧を別ウインドウで表示(詳細は別紙「【S017】決裁見積情報参照画面」参照) |
| 18 | 旧収支表 | 対象案件に紐付されている収益収支表を別ウインドウで表示する。  ※(原子力)収益管理システムの収益収支表画面を表示する。詳細は別紙「(原子力)関連システムへのリンク\_詳細設計書」参照。 |
| 19 | 売上指示 | 対象案件に紐付されている注番の簡易アイテム一覧画面を別ウインドウで表示する。  ※(原子力)発番連携システムの簡易アイテム一覧画面を表示する。詳細は別紙「(原子力)関連システムへのリンク\_詳細設計書」参照。 |
| 20 | 発番連携 | 対象案件に紐付されている注番の簡易アイテム一覧画面を別ウインドウで表示する。  ※(原子力)発番連携システムの簡易アイテム一覧画面を表示する。詳細は別紙「(原子力)関連システムへのリンク\_詳細設計書」参照。 |
|  | 編集モード |  |
| 21 | 保存 | ・確認メッセージを表示し、編集内容でDB保存を行う。また、再計算処理を行う。 ・操作ログへの出力を行う。(1.7参照) |
| 22 | 詳細情報 | 参照モード時の同ボタンと同様。 |
| 23 | 機能/ETカテゴリ追加 | ・「No13.保存」と同アクションを行い、画面の再表示を行った後、 NETカテゴリ追加子画面を表示する。  ・この画面の詳細仕様は別紙「【S007】NETカテゴリ編集.docx」参照。 |
| 24 | 機能/見込差 翌月反映 | ・勘定月の１月前の見込と実績差を翌月の見込に反映する。 |
| 25 | 機能/見込SP(通貨)編集 | ・「No13.保存」と同アクションを行い、画面の再表示を行った後、 見込SP(通貨)編集を表示する。  ・この画面の詳細仕様は別紙「【S012】見込SP（通貨）編集.docx」参照。 |
| 26 | 機能/回収種別編集 | 回収種別編集の子画面をダイアログで表示。  ※子画面の詳細仕様は別紙「【S024】回収種別編集画面」参照。  入力値が何かしら変更されている場合、「保存前入力チェック」→「保存」を行った後に子画面を表示(入力チェックでエラーの場合は処理を中断)。 |
| 27 | 完売実績入力 | ・完売実績入力画面を子画面で表示する。  ・以下の条件を満たす場合のみ表示  →まとめ案件(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL．ANLKEN\_FLG=’1’)  →完売済案件(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL．URIAGE\_END\_FIN =’2’)  ・詳細は別紙「【S010】完売実績入力.doc」を参照。 |
| 28 | キャンセル | ・編集内容を破棄し、参照モードで画面を再表示する。 |
| 29 | (ヘルプ)ヘルプの表示 | 操作マニュアルのPDFを別ウインドウで表示。 |
| 30 | グラフ表示 | 参照モードと同様のため、割愛 |
| 31 | 添付資料 | 参照モードと同様のため、割愛 |
| 32 | 決裁/見積情報 | 参照モードと同様のため、割愛 |
| 33 | 旧収支表 | 参照モードと同様のため、割愛 |
| 34 | 売上指示 | 参照モードと同様のため、割愛 |
| 35 | 発番連携 | 参照モードと同様のため、割愛 |

(※1) 小数点4位四捨五入、小数点以下が0になる場合は小数点以下非表示。

###### 初期処理（引数の取得・画面ヘッダ部表示）

画面表示時に以下の処理を行う。

1. **引数の内容**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 引数 | 内容 |
| 1 | 物件Key |  |
| 2 | 履歴Key | 引数が未指定時：0(今回)とする。 |
| 3 | 履歴フラグ | デフォルト：T 履歴：R  （T:今回値、前回値の場合　R:履歴値の場合） |
| 4 | 期間（FROM） | 期間のFROMが指定される。  書式：年度4桁＋K(上期) or S(下期)  (例)2014年度上期の場合＝2014K  ※項番一覧(期間)でも同様の条件があり、その情報が引き継がれる。 |

1. **「案件情報欄＋履歴管理・備考欄」の表示**

この内容の表示詳細は別紙「【共通】案件ヘッダ(最終見込損益・期間損益画面).doc」を参照。

1. **期間切り替え 欄の表示**

以下の通りに表示する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 表示値 | 備考 |
| 1 | << | 期間開始／期間終了を１つ前の期に変更して再表示する。 |
| 2 | 期間開始 | デフォルト値＝引数．期間（FROM）  ・プルダウンにより、選択可能  ・以下の年月の期間を選択候補として作成  開始年月は、以下の手順で取得(上から優先)：  　①：項番の実績があるもっとも古い年月売上開始年月(※1)  ②：①でデータ取得できない場合は、収益物件の売上開始  年月(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. URIAGE\_START)  ③：②でデータが取得できない場合は勘定年月(※2)  終了年月は、以下の手順で取得：  ①：進行基準の売上年月(GE.SAIKEISAN\_ENDDATE)  　この年月の+6ヶ月後  (回収情報は売上後に入力のため売上後特定月数まで  期間移動できるようにするため)  ②：回収完了年月(GE.KAISYU\_END)  ③：実際の回収見込/実績のMAX年月  MAX(SYU\_KI\_KAISYU\_TBLのSYUEKI\_YM)  　　※勘定年月で見込/実績を判断する。  ④：項番の最新実績年月  MAX(SYU\_KI\_NET\_ITEM\_TUKI\_TBLの最新実績SYUEKI\_YM)  ※勘定年月で実績月を判断  ③：①～④の中で最新の年月を終了年月と判断  　　これらの年月が取得できない場合、勘定年月を 終了年月として扱う。  (※1)月別項番情報(SYU\_KI\_NET\_ITEM\_TUKI\_TBL)を該当案件(まとめ案件の場合は子に属する全ての案件)より検索し、DATA\_KBN=‘J’に該当する年月(SYUEKI\_YM)を表示。  (※2)KANJYO\_MST. KANJYO\_DT=システム日付　に該当する勘定月(KANJYO\_MH)を指定 |
| 3 | 期間終了 | デフォルト値＝引数．期間（FROM）＋ 半期  選択された期間開始より半期後とする。 |
| 4 | >> | 期間開始／期間終了を１つ後ろの期に変更して再表示する。 |

※編集モードかつ、データ編集を行っている場合に、プルダウン変更時に、保存を行う旨のメッセージを表示し、保存を行った後に画面の再表示を行う。

1. **「期間損益表：横軸タイトル」の表示**
2. **年月(ラベル)の表示**

年月は上述「[期間切り替え](#_期間切り替え_欄の表示)」で指定した期間の全年月(書式YYYY/MM)を表示する。

勘定年月から判断して、過去月は「実績」を表示。将来月は「見込」と表示。

最新実績月の場合は、「見込 - 実績」と表示する。

収益物件TBLの見込差反映済FLGが1の場合は「反映済　見込 - 実績」と表示する。

1. **期単位の合計欄(ラベル)の表示**

勘定年月から判断して、過去期は、「実績、前回差」を表示。

将来期は、「見込、前回差」を表示。

1. **合計欄(ラベル)の表示**

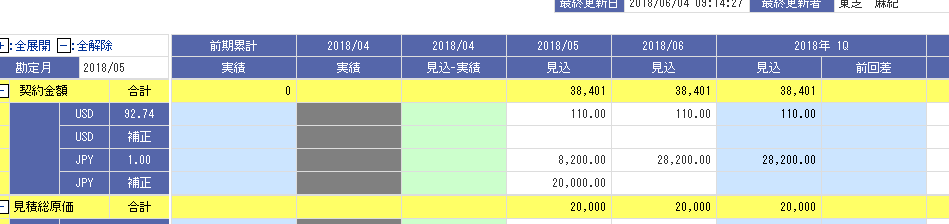
「見込、前回差」を表示。

1. **最終見込 合計欄(ラベル)の表示**

「見込、差分」を表示。

1. **「四半期表示」、「前期累計表示」の表示について**

画面で、4半期情報の表示列と、前期累計の表示列が存在する。



この列は案件の設定で表示・非表示を切り分けする。

・4半期情報列は、案件の4半期情報表示設定がON  
(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=’1’)の場合のみ表示。

・前期累計列は、案件の前期累計表十設定がON  
(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. MAERUIKEI\_DISP\_FLG=’1’) の場合のみ表示。

2018下期追加

###### 初期表示「受注管理」欄の表示

1. **受注SP(発番SP) 合計(円貨) 行データの取得・表示**

各列(各年月や、4半期(Q)、期合計 等)事の受注SPの合計データ(背景が黄色の行)を

テーブル「SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL」から取得して表示する。



この行の表示方法の説明

\_

1. SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBLの検索条件

SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL．ANKEN\_ID = 引数．物件Key(ankenId)

SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL．RIREKI\_ID = 引数．物件Key(rirekiId)

SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL．DATA\_KBN IN 現在の画面に表示する情報を指定

SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL．SYUEKI\_YM IN 現在の画面に表示する情報を指定

※上述のDATA\_KBN とSYUEKI\_YM の指定内容は下記2)のマッピング参照

※引数(rirekiFlg)が”R”の場合は、上記検索テーブルを全て「SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL」に置き換えて検索すること。

1. 画面表示マッピング

上記1)で取得したデータは、以下のマッピングで画面に表示する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_SP | 前期累計 | 表示 | 画面上に表示している期以前の期データのJYUCHU\_SPの集計を行い表示する(以下の条件のデータを集計する)。 　DATA\_KBN = ‘K’ 　SYUEKI\_YM < 現在表示中の期(from)  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示する。 |
| 1 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_SP | 各年月の  列 | 表示 | 1. 過去月(対象列の年月<勘定年月)の年月列   DATA\_KBN =　‘J’(実績)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)   1. 現在月　以降の年月列   DATA\_KBN =　‘M’(見込)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)   1. 現在勘定月の左隣の緑色の列 (見込-実績 列)   　上記②見込値 – 上記①の実績値   1. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 2 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_SP | 4半期の列 | 表示 | 1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 3 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL  SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_SP | 4半期  前回差  の列 | 表示 | 1. SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBLは以下の条件で検索する。   ANKEN\_ID=引数.物件Key(ankenId)  RIREKI\_ID=前回ID(ZENKAI\_ID)を指定  　※前回IDはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLに登録されている。   1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. 今回値-前回値 の計算結果を表示 2. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 4 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_SP | 期  実績/見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 5 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL  SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_SP | 期  実績/見込  前回差  の列 | 表示 | 1. SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBLは以下の条件で検索する。   ANKEN\_ID=引数.物件Key(ankenId)  RIREKI\_ID=前回ID(ZENKAI\_ID)を指定  　※前回IDはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLに登録されている。   1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”   1. 今回値-前回値 の計算結果を表示 2. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 6 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_SP | 最終見込  見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’F’(最終見込) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900F’固定で指定  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 7 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_SP | 発番実績  実績  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’H’(発番実績) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900H’ 固定で指定  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |

1. **受注レート / 受注金額　の取得・表示**
2. 通貨行の取得

受注レートと受注金額は、通貨の行を表示する必要がある。



通貨の行の取得方法の説明

通貨行は以下の2テーブル(どちらか片方のテーブルに含まれていたらOK (full outer joinで結合すれば1SQLで検索可能))から取得する。

取得テーブル：

SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL

SYU\_KI\_SP\_CUR\_TBL

取得項目：CURRENCY\_CODE(これが通貨なので、これを表示する)

検索条件(その他、同一項目で結合する)：

ANKEN\_ID = 引数．物件Key(ankenId)

RIREKI\_ID = 引数．物件Key(rirekiId)

(SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBLのみ)

SYUEKI\_YM < 勘定年月 AND DATA\_KBN = ‘J’

もしくは

SYUEKI\_YM >= 勘定年月 AND DATA\_KBN = ‘M’

ソート順：CURRENCY\_SEQ

※引数(rirekiFlg)が”R”の場合は、上記検索テーブルを「SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL」「SYU\_R\_KI\_SP\_CUR\_TBL」に置き換えて検索すること。

1. 受注レート / 受注SPのデータは、テーブル「SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL」から以下の条件で取得する。

SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL．ANKEN\_ID = 引数．物件Key(ankenId)

SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL．RIREKI\_ID = 引数．物件Key(rirekiId)

SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL．DATA\_KBN IN 現在の画面に表示する情報を指定

SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL．SYUEKI\_YM IN 現在の画面に表示する情報を指定

SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL．CURRENCY\_CODE = 上述1)で取得した通貨コード

(通貨行毎に決まるので、それを指定する)

※上述のDATA\_KBN とSYUEKI\_YM の指定内容は下記3)、4)のマッピング参照

※引数(rirekiFlg)が”R”の場合は、上記検索テーブルを全て「SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL」に置き換えて検索すること。

1. 受注レート　の画面表示マッピング

注意：通貨(CURRENCY\_CODE)=’JPY’の列は、行を表示しないこと。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
|  |  |  | 前期累計 | 表示 | ここには何も表示しない。 |
| 1 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_RATE  (小数点2桁まで表示。小数点がない場合も.00と表示する) | 各年月の  列 | 表示/  入力 | 1. 過去月(対象列の年月<勘定年月)の年月列   DATA\_KBN =　‘J’(実績)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)   1. 現在月以降(対象列の年月>=勘定年月)の年月列   DATA\_KBN =　‘M’(見込)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)  この列は編集モード時には入力可能にする。  ただし、完売月(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.SAIKEISAN\_END\_DATE)以降の月は入力項目とはしないこと。   1. 現在勘定月の左隣の緑色の列 (見込-実績 列)   この列には何も表示ない   1. 小数点2桁（小数点がい場合も.00形式で表示）＋右寄せ　の形式で表示。 |
| 2 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_RATE  (小数点2桁まで表示。小数点がない場合も.00と表示する) | 4半期の列 | 表示 | 1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. 小数点2桁（小数点がい場合も.00形式で表示）＋右寄せ　の形式で表示。 |
| 3 |  |  | 4半期  前回差  の列 | 表示 | この列には何も表示しない |
| 4 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_RATE | 期  実績/見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”  小数点2桁（小数点がい場合も.00形式で表示）＋右寄せ　の形式で表示。 |
| 5 |  |  | 期  実績/見込  前回差  の列 | 表示 | この列には何も表示しない |
| 6 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_RATE | 最終見込  見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’F’(最終見込) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900F’固定で指定  小数点2桁（小数点がい場合も.00形式で表示）＋右寄せ　の形式で表示。 |
| 7 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_RATE | 発番実績  実績  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’H’(発番実績) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900H’ 固定で指定  小数点2桁（小数点がい場合も.00形式で表示）＋右寄せ　の形式で表示。 |

1. 受注SP　の画面表示マッピング

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_SP | 各年月の  列 | 表示/  入力 | 1. 過去月(対象列の年月<勘定年月)の年月列   DATA\_KBN =　‘J’(実績)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)   1. 現在月以降(対象列の年月>=勘定年月)の年月列   DATA\_KBN =　‘M’(見込)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)  この列は編集モード時には入力可能にする。  ただし、完売月(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.SAIKEISAN\_END\_DATE)以降の月は入力項目とはしないこと。   1. 現在勘定月の左隣の緑色の列 (見込-実績 列)   　上記②見込値 – 上記①の実績値   1. 表示書式は以下の通り 通貨：JPYの場合は右寄せ＋カンマ編集 通貨：JPY以外の場合は右寄せ＋カンマ編集＋小数点2位まで表示(四捨五入) |
| 2 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_SP | 4半期の列 | 表示 | 1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. 表示書式は以下の通り 通貨：JPYの場合は右寄せ＋カンマ編集 通貨：JPY以外の場合は右寄せ＋カンマ編集＋小数点2位まで表示(四捨五入) |
| 3 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL  SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_SP | 4半期  前回差  の列 | 表示 | 1. SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBLは以下の条件で検索する。   ANKEN\_ID=引数.物件Key(ankenId)  RIREKI\_ID=前回ID(ZENKAI\_ID)を指定  　※前回IDはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLに登録されている。   1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. 今回値-前回値 の計算結果を表示 2. 表示書式は以下の通り 通貨：JPYの場合は右寄せ＋カンマ編集 通貨：JPY以外の場合は右寄せ＋カンマ編集＋小数点2位まで表示(四捨五入) |
| 4 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_SP | 期  実績/見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”  表示書式は以下の通り 通貨：JPYの場合は右寄せ＋カンマ編集 通貨：JPY以外の場合は右寄せ＋カンマ編集＋小数点2位まで表示(四捨五入) |
| 5 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL  SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_SP | 期  実績/見込  前回差  の列 | 表示 | 1. SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBLは以下の条件で検索する。   ANKEN\_ID=引数.物件Key(ankenId)  RIREKI\_ID=前回ID(ZENKAI\_ID)を指定  　※前回IDはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLに登録されている。   1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”   1. 今回値-前回値 の計算結果を表示 2. 表示書式は以下の通り 通貨：JPYの場合は右寄せ＋カンマ編集 通貨：JPY以外の場合は右寄せ＋カンマ編集＋小数点2位まで表示(四捨五入) |
| 6 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_SP | 最終見込  見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’F’(最終見込) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900F’固定で指定  表示書式は以下の通り 通貨：JPYの場合は右寄せ＋カンマ編集 通貨：JPY以外の場合は右寄せ＋カンマ編集＋小数点2位まで表示(四捨五入) |
| 7 | SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL | JYUCHU\_SP | 発番実績  実績  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’H’(発番実績) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900H’ 固定で指定  表示書式は以下の通り 通貨：JPYの場合は右寄せ＋カンマ編集 通貨：JPY以外の場合は右寄せ＋カンマ編集＋小数点2位まで表示(四捨五入) |

1. **受注NET(発番NET)　合計 行データの取得・表示**

各列(各年月や、4半期(Q)、期合計 等)事の受注NETの合計データ(背景が黄色の行)を

テーブル「SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL」から取得して表示する。



この行の表示方法の説明

\_

1. SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBLの検索条件

上述1)の「受注SP(発番SP) 合計(円貨) 行」と同様なので割愛（このSQLから同時に取得できるはず）

1. 画面表示マッピング

上記1)で取得したデータは、以下のマッピングで画面に表示する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
|  | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_NET | 前期累計 | 表示 | 画面上に表示している期以前の期データのJYUCHU\_NETの集計を行い表示する(以下の条件のデータを集計する)。 　DATA\_KBN = ‘K’ 　SYUEKI\_YM < 現在表示中の期(from)  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示する。 |
| 1 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_NET | 各年月の  列 | 表示 | 1. 過去月(対象列の年月<勘定年月)の年月列   DATA\_KBN =　‘J’(実績)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)   1. 現在月　以降の年月列   DATA\_KBN =　‘M’(見込)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)   1. 現在勘定月の左隣の緑色の列 (見込-実績 列)   　上記②見込値 – 上記①の実績値   1. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 2 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_NET | 4半期の列 | 表示 | 1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 3 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL  SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_NET | 4半期  前回差  の列 | 表示 | 1. SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBLは以下の条件で検索する。   ANKEN\_ID=引数.物件Key(ankenId)  RIREKI\_ID=前回ID(ZENKAI\_ID)を指定  　※前回IDはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLに登録されている。   1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. 今回値-前回値 の計算結果を表示 2. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 4 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_NET | 期  実績/見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 5 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL  SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_NET | 期  実績/見込  前回差  の列 | 表示 | 1. SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBLは以下の条件で検索する。   ANKEN\_ID=引数.物件Key(ankenId)  RIREKI\_ID=前回ID(ZENKAI\_ID)を指定  　※前回IDはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLに登録されている。   1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”   1. 今回値-前回値 の計算結果を表示 2. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 6 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_NET | 最終見込  見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’F’(最終見込) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900F’固定で指定  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 7 | SYU\_KI\_JYUCHU\_TOTAL\_TBL | JYUCHU\_NET | 発番実績  実績  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’H’(発番実績) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900H’ 固定で指定  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |

1. **一括見込NET 行データ　の取得・表示**

一括見込NETの行は、テーブル「SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL」から取得して表示する。



この列の表示方法の説明

\_

1. SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBLの検索条件

SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL．ANKEN\_ID = 引数．物件Key(ankenId)

SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL．RIREKI\_ID = 引数．物件Key(rirekiId)

SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL.CATEGORY\_CODE＝’ B0000’ 固定

SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL．DATA\_KBN IN 現在の画面に表示する情報を指定

SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL．SYUEKI\_YM IN 現在の画面に表示する情報を指定

※上述のDATA\_KBN とSYUEKI\_YM の指定内容は下記2)のマッピング参照

※引数(rirekiFlg)が”R”の場合は、上記検索テーブルを全て「SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL」に置き換えて検索すること。

1. 画面表示マッピング

上記1)で取得したデータは、以下のマッピングで画面に表示する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
|  | SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL | JYUCHU\_NET | 前期累計 | 表示 | 画面上に表示している期以前の期データのJYUCHU\_NETの集計を行い表示する(以下の条件のデータを集計する)。 　DATA\_KBN = ‘K’ 　SYUEKI\_YM < 現在表示中の期(from)  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示する。 |
| 1 | SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL | JYUCHU\_NET | 各年月の  列 | 表示 | 1. 過去月(対象列の年月<勘定年月)の年月列   DATA\_KBN =　‘J’(実績)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)   1. 現在月　以降の年月列   DATA\_KBN =　‘M’(見込)  SYUEKI\_YM = 対象列の年月(yyyyMM形式)  この列は編集モード時には入力可能にする。  ただし、完売月(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.SAIKEISAN\_END\_DATE)以降の月は入力項目とはしないこと。   1. 現在勘定月の左隣の緑色の列 (見込-実績 列)   　上記②見込値 – 上記①の実績値   1. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 2 | SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL | JYUCHU\_NET | 4半期の列 | 表示 | 1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 3 | SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL  SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL | JYUCHU\_NET | 4半期  前回差  の列 | 表示 | 1. SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBLは以下の条件で検索する。   ANKEN\_ID=引数.物件Key(ankenId)  RIREKI\_ID=前回ID(ZENKAI\_ID)を指定  　※前回IDはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLに登録されている。   1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘Q’(4半期)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019 1Qなら”201906Q”  2019 2Qなら”201909Q”  2019 3Qなら”201912Q”  2019 4Qなら”202003Q”   1. この列は、4半期表示設定がON   (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。   1. 今回値-前回値 の計算結果を表示 2. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 4 | SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL | JYUCHU\_NET | 期  実績/見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 5 | SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL  SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL | JYUCHU\_NET | 期  実績/見込  前回差  の列 | 表示 | 1. SYU\_R\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBLは以下の条件で検索する。   ANKEN\_ID=引数.物件Key(ankenId)  RIREKI\_ID=前回ID(ZENKAI\_ID)を指定  　※前回IDはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBLに登録されている。   1. 以下の条件のデータを表示   DATA\_KBN =　‘K’(期合計)  SYUEKI\_YM = 対象列の4半期データ  例)2019上期なら”201909K”  2019下期なら”202003S”   1. 今回値-前回値 の計算結果を表示 2. カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 6 | SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL | JYUCHU\_NET | 最終見込  見込  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’F’(最終見込) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900F’固定で指定  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |
| 7 | SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL | JYUCHU\_NET | 発番実績  実績  の列 | 表示 | 以下の条件のデータを表示  　DATA\_KBN = ’H’(発番実績) 固定で指定  　SYUEKI\_YM = ‘999900H’ 固定で指定  カンマ編集＋右寄せ　の形式で表示 |

1. **粗利 行の表示**

受注管理 欄の粗利　行に表示するデータは、計算した結果を表示する。



この行の表示方法の説明

\_

計算方法は、各列の「受注SP(発番SP)合計(円貨)－受注SP(発番NET)合計」となる。

(注意)計算時は、常に円貨単位：円の状態で計算すること。計算後、画面に表示するときに円貨単位の切り替えを行う。

(注意)ユーティリティクラス：SyuuekiUtils.javaのarariメソッドを利用して計算すること。

1. **M率 行の表示**

受注管理 欄のM率 行に表示するデータは、計算した結果を表示する。



この行の表示方法の説明

\_

計算方法は、「受注SP(発番SP)合計(円貨)／受注SP(発番NET)合計　\* 100」となる。

(注意)計算時、常に円貨単位：円として扱い計算する。小数点第２位まで表示（第３位を四捨五入）

(注意)ユーティリティクラス：SyuuekiUtils.javaのmrateメソッドを利用して計算すること。

###### 初期処理「期間損益表：契約金額(SP)」の表示

以下の通りに表示する。

1. **契約金額 合計 欄の取得**

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に契約金額（SP）合計を表示する。  
取得条件：期間損益TBL売上高/契約金額（SP）．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額（SP）．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL売上高/契約金額（SP） | 契約金額 | 上記（4）年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績(J)   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込(M)   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL売上高/契約金額（SP） | 契約金額 | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL売上高/契約金額（SP） | 契約金額 | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値　を表示 |
| 4 | 期間損益TBL売上高/契約金額（SP） | 契約金額 | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'  データ種別 =　期  データが存在しない場合はNULLを表示 |
| 5 | 期間損益TBL売上高/契約金額（SP） | 契約金額 | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値 - 前回値 |
| 6 | 期間損益TBL売上高/契約金額（SP） | 契約金額 | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL売上高/契約金額（SP） | 契約金額 | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計  今回値 - 前回値 |

1. **契約金額内訳：通貨単位の取得(内訳の縦軸)**

通貨コード毎に補正の行を表示する。

取得条件：期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．連番　 =　00固定

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細 | 通貨コード | 契約金額  通貨行 | 表示 | 補正行も通貨コードを表示する。  通貨シーク順に表示 |
| 2 | 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細 | 契約為替レート | 契約金額  通貨レート | 表示 | 補正行は「補正」を表示する。 |

1. **契約金額内訳：契約金額 の取得**

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に契約金額を表示する。  
取得条件：期間損益TBL月別詳細（進行基準）．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．通貨コード =　上記②通貨コード

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 契約金額 建値額  ※補正行 契約金額 補正 | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績(J)   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込(Q)   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 契約金額 建値額  ※補正行 契約金額 補正 | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 契約金額 建値額  ※補正行 契約金額 補正 | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 契約金額 建値額  ※補正行 契約金額 補正 | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  データが存在しない場合はNULLを表示 |
| 5 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 契約金額 建値額  ※補正行 契約金額 補正 | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値 - 前回値 |
| 6 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 契約金額 建値額  ※補正行 契約金額 補正 | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 契約金額 建値額  ※補正行 契約金額 補正 | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値 - 前回値 |

###### 初期処理「期間損益表：見積総原価」の表示

1. **見積総原価 合計 欄の取得**

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に見積総原価合計を表示する。  
取得条件：期間損益ＴＢＬ見積総原価．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益ＴＢＬ見積総原価．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL　見積総原価 | 見積総原価 | 上記（4）年月 | 表示 | 年月 = 上記(4)年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益ＴＢＬ見積総原価 | 見積総原価 | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益ＴＢＬ見積総原価 | 見積総原価 | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益ＴＢＬ見積総原価 | 見積総原価 | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益ＴＢＬ見積総原価 | 見積総原価 | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益ＴＢＬ見積総原価 | 見積総原価 | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益ＴＢＬ見積総原価 | 見積総原価 | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計  今回値－前回値 |

1. **見積総原価 発番NET 欄の取得**

見積総原価　発番NETは以下の通り取得・表示を行う。

取得条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 発番NET | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 発番NET | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 発番NET | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 発番NET | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 発番NET | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 発番NET | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 発番NET | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

1. **見積総原価 未発番NET 欄の取得**

見積総原価　未発番NETは以下の通り取得・表示を行う。

データ種別毎に売上原価を表示する。  
取得条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 未発番NET | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 未発番NET | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 未発番NET | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 未発番NET | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 未発番NET | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 未発番NET | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 未発番NET | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

1. **見積総原価 製番損益NET 欄の取得**

見積総原価　製番損益NETは以下の通り取得・表示を行う。

データ種別毎に売上原価を表示する。  
取得条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 製番損益 NET | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 製番損益 NET | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 製番損益 NET | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 製番損益 NET | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 製番損益 NET | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 製番損益 NET | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL見積総原価月別詳細 | 製番損益 NET | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

###### 初期処理「期間損益表：売上高(今回）」の表示

1. **売上高　今回 合計欄の取得**

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に売上高今回合計を表示する。

取得条件：期間損益TBL売上高/契約金額SP．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額SP．履歴Key　=　引数．履歴Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額SP．年月　　 　=　上記(4)年月

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （今回） | 上記（4）年月 | 表示 | 年月 = 上記(4)年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （今回） | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （今回） | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （今回） | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （今回） | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （今回） | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （今回） | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

1. **売上高今回合計　内訳：通貨単位の取得(内訳の縦軸)**

この欄は以下の通りに取得する。

取得条件：期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．連番　 =　00固定

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細 | 通貨コード | 契約金額  通貨行 | 表示 | 通貨シーク順に表示 |

1. **売上高今回合計　内訳：建値額の取得(内訳の縦軸)**

この欄は以下の通りに取得する。

上記（4）の期間毎に建値額を表示する。  
取得条件：期間損益TBL月別詳細（進行基準）．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．通貨コード =　上記②通貨コード

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （今回） | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （今回） | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （今回） | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （今回） | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （今回） | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （今回） | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （今回） | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

1. **売上高今回合計　内訳：売上為替レートの取得(内訳の縦軸)**

この欄は以下の通りに取得する。

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に売上為替レートを表示する。

取得条件：期間損益TBL月別詳細（進行基準）．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．通貨コード =　上記②通貨コード

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替レート （今回） | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替レート （今回） | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替レート （今回） | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替レート （今回） | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替レート （今回） | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替レート （今回） | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替レート （今回） | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

1. **売上高今回合計　内訳：為替差調整の取得(内訳の縦軸)**

この欄は以下の通りに取得する。

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に為替差調整を表示する。  
取得条件：期間損益TBL月別詳細（進行基準）．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．通貨コード =　上記②通貨コード

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替差調整 （今回） | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替差調整 （今回） | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替差調整 （今回） | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替差調整 （今回） | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替差調整 （今回） | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替差調整 （今回） | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 為替差調整 （今回） | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

###### 初期処理「期間損益表：売上高(累計）」の表示

「期間損益表：売上高　累計」は以下の通りに表示する。

1. **売上高 累計 合計の取得**

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に売上高累計合計を表示する。  
取得条件：期間損益TBL売上高/契約金額SP．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額SP．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （累計） | 上記（4）年月 | 表示 | 年月 = 上記(4)年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （累計） | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （累計） | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （累計） | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （累計） | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （累計） | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL売上高/契約金額SP | 売上高 （累計） | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

1. **売上高 累計 内訳：通貨単位の取得(内訳の縦軸)**

この欄は以下の通りに取得する。

取得条件：期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key  
 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細．連番　 =　00固定

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL売上高/契約金額通貨詳細 | 通貨コード | 契約金額  通貨行 | 表示 | 通貨シーク順に表示 |

1. **売上高 累計 内訳：建値額の取得(内訳の縦軸)**

この欄は以下の通りに取得する。

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に建値額を表示する。  
取得条件：期間損益TBL月別詳細（進行基準）．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．通貨コード =　上記②通貨コード

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （累計） | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （累計） | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （累計） | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 2 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （累計） | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 3 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （累計） | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 4 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （累計） | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 5 | 期間損益TBL月別詳細（進行基準） | 売上高 建値額 （累計） | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

###### 初期処理「期間損益表：売上原価(今回)」の表示

「期間損益表：売上原価(今回)」は以下の通りに表示する。

1. **売上原価 今回合計の取得**

この欄は以下の通りに取得する。

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に売上原価合計を表示する。  
取得条件：期間損益TBL（原価）原価．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL（原価）原価．履歴Key　=　引数．履歴Key  
 期間損益TBL（原価）原価．年月　　 　=　上記(4)年月

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 今回合計 | 上記（4）年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 今回合計 | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 今回合計 | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 今回合計 | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 今回合計 | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 今回合計 | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 今回合計 | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

1. **売上原価 今回 内訳カテゴリの取得(内訳の縦軸)**

この欄は以下の通りに取得する。

取得条件：期間損益TBL(原価)カテゴリ別．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL(原価)カテゴリ別．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別 | カテゴリコード |  |  |  |
| 2 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別 | カテゴリ名１  カテゴリ名2 | 売上原価今回合計  カテゴリ行 | 表示 (アンカー) | ・カテゴリ名１とカテゴリ名2を項目分割してアンカー表示。  ・カテゴリ名のアンカーをクリックすると、項番一覧に遷移する(該当データのカテゴリコードを引数で渡す)  ・カテゴリシーク順に表示。 |

1. **売上原価 今回 内訳カテゴリ別の原価の取得 (内訳の横軸)**

この欄は以下の通りに取得する。

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に建値額を表示する。  
取得条件：期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．カテゴリコード =　上記②ｶﾃｺﾞﾘｺｰﾄﾞ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 | NET | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 | NET | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 | NET | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 2 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 | NET | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 3 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 | NET | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 4 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 | NET | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 5 | 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 | NET | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

###### 初期処理「期間損益表：売上原価(累計)」の表示

「期間損益表：売上原価(累計)」は以下の通りに表示する。

1. **売上原価 累計 合計の取得**

この欄は以下の通りに取得する。

「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の期間毎に売上原価合計を表示する。

取得条件：期間損益TBL（原価）原価．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL（原価）原価．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 累計 | 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 累計 | 4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 累計 | 4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 累計 | 期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 累計 | 期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 累計 | 合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | 期間損益TBL（原価）原価 | 売上原価 累計 | 合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |

1. **粗利 欄の取得**

この欄は以下の通りに取得する。

1. 粗利今回の取得  
   算出方法は、「今回売上高－今回売上原価」となる。
2. 粗利累計の取得  
   算出方法は、「累計売上高－今回売上高」となる。
3. **M率 欄の取得**

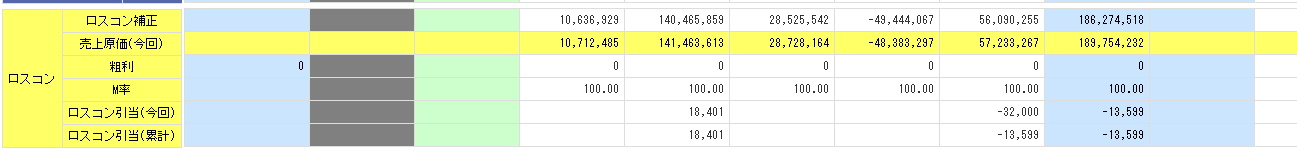
この欄は以下の通りに取得する。

1. M率今回の取得  
   算出方法は、「今回売上高／今回売上原価　\* 100」となる。
2. M率累計の取得  
   算出方法は、「累計売上高／今回売上高　\* 100」となる。

※計算時、常に円貨単位：円として扱い計算する。小数点第２位まで表示（第３位を四捨五入）

###### 初期表示「期間損益表：ロスコン情報欄」の表示

「ロスコン情報」欄は以下の通りに表示する。



1. **ロスコン情報欄の表示判定**

この欄はロスコン対象案件のみ表示する。ロスコン対象でない案件はこの欄自体を表示しない。

ロスコン対象案件はSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.LOSS\_CONTROL\_FLAG=’Y’の案件となる。

※上記FLGは再計算バッチ内のサブパッケージ：SYU\_P0\_KI\_LOSS\_NET処理で  
SYU\_KI\_NET\_SOGENKA\_TOTAL\_TBL.LOSS\_CONTROL\_FLAGより立てている。  
ロスコン判定は経理担当がGAIAに登録し、この情報を上記テーブルに登録している。

※以下の表示マッピングも、ロスコン対象案件のみとなる。

1. **ロスコン欄の「ロスコン補正」行の表示マッピング**

「ロスコン補正」行の各年月、4半期合計、期合計、総合計の表示マッピングは以下の通り

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HOSEI | 前期累計 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM < 現在の表示対象期より前の期全て ※前期までの集計値を表示する。  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 2 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HOSEI | 各実績・見込年月 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’M’(見込)/’J’ (実績)、SYUEKI\_YM=年月  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 3 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HOSEI | 4半期 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 4 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_HOSEI | 4半期  前回差 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・期合計（上記3）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 5 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HOSEI | 期  実績/見込 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 6 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_HOSEI | 期  前回差 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・期合計（上記5）-前回値　の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 7 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HOSEI | 合計  見込 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 8 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_HOSEI | 合計  前回差 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・期合計（上記7）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |

2018下期追加

1. **ロスコン欄の「売上高（今回）」行の表示マッピング**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_AMOUNT | 前期累計 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM < 現在の表示対象期より前の期全て ※前期までの集計値を表示する。  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 2 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_AMOUNT | 各実績・見込年月 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’M’(見込)/’J’ (実績)、SYUEKI\_YM=年月  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 3 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_AMOUNT | 4半期 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 4 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_AMOUNT | 4半期  前回差 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・期合計（上記3）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 5 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_AMOUNT | 期  実績/見込 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 6 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_AMOUNT | 期  前回差 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・期合計（上記5）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 7 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_AMOUNT | 合計  見込 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 8 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_AMOUNT | 合計  前回差 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・期合計（上記7）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |

1. **ロスコン欄の「売上原価（今回）」行の表示マッピング**

ロスコン情報の「売上原価(今回)」行の各年月、4半期合計、期合計、総合計の表示マッピングは以下の通り

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_GENKA | 前期累計 | 表示 | ・ロスコン補正行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM < 現在の表示対象期より前の期全て ※前期までの集計値を表示する。  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 2 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_GENKA | 各実績・見込年月 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’M’(見込)/’J’ (実績)、SYUEKI\_YM=年月  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 3 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_GENKA | 4半期 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 4 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_GENKA | 4半期  前回差 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・期合計（上記3）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 5 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_GENKA | 期  実績/見込 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 6 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_GENKA | 期  前回差 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・期合計（上記5）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 7 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_GENKA | 合計  見込 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 8 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_GENKA | 合計  前回差 | 表示 | ・ロスコンの売上原価(今回)行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・期合計（上記7）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集  2018下期仕様変更 |

1. **ロスコン欄の「粗利」行の表示マッピング**

ロスコン情報の「粗利」行は、各年月、4半期合計、期合計、総合計行の「~~売上高(今回合計)~~ロスコン情報欄の売上高(今回)-ロスコン情報（売上原価(今回)）」※右寄せ＋カンマ編集 の計算結果を表示。

ただし、ロスコン情報（売上原価(今回)）がNULLの行は計算対象外として、何も表示しない。

2018下期仕様変更

1. **ロスコン欄の「M率」行の表示マッピング**

ロスコン情報の「粗利」行は、各年月、4半期合計、期合計、総合計行の「~~（売上高(今回合計)~~ロスコン情報欄の売上高(今回)÷ロスコン情報（売上原価(今回)））×100」※小数点2桁まで＋四捨五入 の計算結果を表示。

ただし、ロスコン情報（売上原価(今回)）がNULLの行は計算対象外として、何も表示しない。

1. **ロスコン欄の「ロスコン引当（今回）」行の表示マッピング**

ロスコン情報の「ロスコン引当（今回）」行の各年月、4半期合計、期合計、総合計の表示マッピングは以下の通り

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HIKIATE | 前期累計 | 表示 | ・ロスコン引当（今回）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM < 現在の表示対象期より前の期全て ※前期までの集計値を表示する。  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 2 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HIKIATE | 各実績・見込年月 | 表示 | ・ロスコン引当（今回）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’M’(見込)/’J’ (実績)、SYUEKI\_YM=年月  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 3 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HIKIATE | 4半期 | 表示 | ・ロスコン引当（今回）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 4 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_HIKIATE | 4半期  前回差 | 表示 | ・ロスコン引当（今回）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・期合計（上記3）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 5 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HIKIATE | 期  実績/見込 | 表示 | ・ロスコン引当（今回）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 6 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_HIKIATE | 期  前回差 | 表示 | ・ロスコン引当（今回）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・期合計（上記5）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 7 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_HIKIATE | 合計  見込 | 表示 | ・ロスコン引当（今回）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 8 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_HIKIATE | 合計  前回差 | 表示 | ・ロスコン引当（今回）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・期合計（上記7）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |

1. **ロスコン欄の「ロスコン引当（累計）」行の表示マッピング**

ロスコン情報の「ロスコン引当（累計）」行の各年月、4半期合計、期合計、総合計の表示マッピングは以下の通り

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_RUIKEI\_HIKIATE | 前期累計 | 表示 | ・ロスコン引当（累計）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM = 現在の表示対象期(FROM)の前期 ※前期情報のみを表示。  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 2 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_RUIKEI\_HIKIATE | 各実績・見込年月 | 表示 | ・ロスコン引当（累計）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’M’(見込)/’J’ (実績)、SYUEKI\_YM=年月  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 3 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_RUIKEI\_HIKIATE | 4半期 | 表示 | ・ロスコン引当（累計）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 4 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_RUIKEI\_HIKIATE | 4半期  前回差 | 表示 | ・ロスコン引当（累計）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’Q’(4半期)、SYUEKI\_YM=4半期最終月+Q  ・期合計（上記3）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 5 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_RUIKEI\_HIKIATE | 期  実績/見込 | 表示 | ・ロスコン引当（累計）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 6 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_RUIKEI\_HIKIATE | 期  前回差 | 表示 | ・ロスコン引当（累計）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’K’(期合計)、 SYUEKI\_YM=期最終月+K(上期) or S(下期)  ・期合計（上記5）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 7 | SYU\_KI\_LOSS\_TBL | LOSS\_RUIKEI\_HIKIATE | 合計  見込 | 表示 | ・ロスコン引当（累計）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 8 | SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBL  （前回値のみ） | LOSS\_RUIKEI\_HIKIATE | 合計  前回差 | 表示 | ・ロスコン引当（累計）行の各年月の表示は左記データベース情報から表示。  ・SYU\_R\_KI\_LOSS\_TBLは、前月の月次確定情報(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL.ZENKAI\_ID)を検索  ・DATA\_KBN=’G’(合計)、SYUEKI\_YM=’999900G’  ・期合計（上記7）-前回値 の計算結果を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |

###### 初期処理「期間損益表：回収管理」欄の表示

「期間損益表：回収管理」欄は以下の通りに表示する。

1. **回収管理欄のヘッダ部のデータ表示**



「回収管理」タイトルの右隣りに、対象案件の取扱店を表示する。

取扱店はSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. TORIATSU\_NM(NULLの場合は”直扱”固定)となる。

(マウスカーソルをあてるとツールチップで全桁出力する)

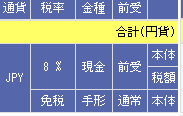
2018下期追加

取扱店の右隣(1半角文字分開ける)に、対象案件の販売ルートを表示する。

販売ルートはSYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. SALES\_ROUTE\_NMとなる。

(マウスカーソルをあてるとツールチップで全桁出力する)

1. **縦方向(回収種別(通貨/税率/金種/回収種別)情報データの取得・表示**



SYU\_KI\_KAISYU\_TBL (期間損益・回収見込)を以下の条件で対象案件の全回収情報データ取得して、回収情報一覧を表示する。

条件：

SYU\_KI\_KAISYU\_TBL.ANKEN\_ID = 引数.物件Key

SYU\_KI\_KAISYU\_TBL.RIREKI\_ID = 引数.履歴ID

・同一の回収種別(通貨、税率、金種、回収区分)でグループ化を行うこと。

・一行目は全回収種別の合計行(背景色黄色)を作成すること。

ソート順：通貨シーク (昇順)、税率(税率マスタ(SYU\_ZEIKBN\_MST)のDEFAULT\_FLG、ZEI\_KBNで昇順)、金種(昇順)、回収区分(昇順)とする。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | CURRENCY\_CODE | 通貨 | 表示 | 円貨通貨(JPY)の場合：  回収金額のみが表示/入力できるように行を表示する。  外貨通貨(JPY以外)の場合：  　1データで2行構成にして、回収外貨/回収円貨を表示、入力できるようにする。 |
| 2 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | ZEI\_KBN | 税率 | 表示 | ZEI\_KBNよりSYU\_ZEIKBN\_MSTより、税区分略称(ZEI\_RNM)を表示 |
| 3 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KINSYU\_KBN | 金種 | 表示 | KINSYU\_KBNによって、以下の表示に切り分け  1：通常　2：手形 |
| 4 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_KBN | 前受 | 表示 | KAISYU\_KBNによって、以下の表示に切り分け  0：通常 1：前受 |

1. **横方向(回収種別毎の回収金額)の表示**

前述で取得した回収種別(通貨/税率/金種/回収区分)毎に、回収金額を表示する。

回収金額は、円貨通貨(JPY)の場合は回収金額のみ、外貨通貨の場合は回収外貨、円貨それぞれを表示・入力できる。上記それぞれのマッピングについて以下に示す。

1. **合計(円貨)行 ※背景色が黄色の行**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 各実績・見込年月 | 表示/入力 | ・各回収種別の各実績・見込年月列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 2 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 4半期 | 表示 | ・各回収種別の4半期列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 3 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 4半期  前回差 | 表示 | ・各回収種別の4半期(前回差)列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 4 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 期  実績/見込 | 表示 | ・各回収種別の上期、下期列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 5 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 期  前回差 | 表示 | ・各回収種別の上期、下期(前回差)列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 6 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 合計  見込 | 表示 | ・各回収種別の合計見込列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 7 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 合計  前回差 | 表示 | ・各回収種別の合計(前回差)列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 8 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 最終見込  見込 | 表示 | ・各回収種別の最終見込列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |
| 9 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT  KAISYU\_ENKA\_ZEI | 最終見込  差分 | 表示 | ・各回収種別の最終見込(差分)列の回収円貨額(KAISYU\_ENKA\_AMOUNT)+回収円貨税額(KAISYU\_ENKA\_ZEI)の計算結果の集計値を表示  ・右寄せ＋カンマ編集 |

1. **円貨通貨の場合**

円貨通貨(CURRENCY\_CODE=’JPY’)の場合は、本体額入力行、税額行の最低1行、最大2行構成とする。

税額行は、対象の回収種別の税率が存在する場合(5%、8%など)のみ表示する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (本体行)  各実績・見込年月 | 表示/入力 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (本体行)  4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (本体行)  4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (本体行)  期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (円貨行)  期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (本体行)  合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (本体行)  合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |
| 8 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (本体行)  最終見込  見込 | 表示 | 年月 = 99900M データ種別 =　最終見込 |
| 9 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUT | (本体行)  最終見込  差分 | 表示 | 上記No6．最終見込 - 上記No4．合計 |
| 10 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  各実績・見込年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 11 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 12 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 13 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行  期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 14 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 15 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 16 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |
| 17 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  最終見込  見込 | 表示 | 年月 = 99900M データ種別 =　最終見込 |
| 18 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  最終見込  差分 | 表示 | 上記No6．最終見込 - 上記No4．合計 |

1. **外貨通貨の場合**

外貨通貨(CURRENCY\_CODE=’JPY’以外)の場合は、外貨入力行と円貨入力行、税額行の最低2行、最大3行構成とする。

税額行は、対象の回収種別の税率が存在する場合(5%、8%など)のみ表示する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 表示データ | | |
| テーブル | カラム | 画面項目 | Type | 備考 |
| 1 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  各実績・見込年月 | 表示/入力 | 年月 = 上記(4)年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 2 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 3 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 4 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 5 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 6 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 7 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |
| 8 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  最終見込  見込 | 表示 | 年月 = 99900M データ種別 =　最終見込 |
| 9 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_AMOUNT | (外貨行)  最終見込  差分 | 表示 | 上記No6．最終見込 - 上記No4．合計 |
| 10 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  各実績・見込年月 | 表示/入力 | 年月 = 上記(4)年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 11 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 12 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 13 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 14 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 15 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 16 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |
| 17 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  最終見込  見込 | 表示 | 年月 = 99900M データ種別 =　最終見込 |
| 18 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_AMOUNT | (円貨行)  最終見込  差分 | 表示 | 上記No6．最終見込 - 上記No4．合計 |
| 19 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  各実績・見込年月 | 表示 | 年月 = 「[各年月・合計欄](#_「期間損益表：横軸タイトル」の表示)」毎の年月   1. 過去月の場合   データ種別 =　実績   1. 将来月の場合   データ種別 =　見込   1. 最新実績月の場合   上記②見込 – 上記①実績   1. データが存在しない場合   NULLを表示 |
| 20 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  4半期 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。 |
| 21 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  4半期  前回差 | 表示 | 年月=YYYYMM(6月,9月,12月,3月)+’Q’  ※四半期表示がON (SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL. QUARTER\_DISP\_FLG=‘1’)の場合のみ表示する。  ※今回値-前回値を表示 |
| 22 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行  期  実績/見込 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期 |
| 23 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  期  前回差 | 表示 | 年月 = 上記(4)期 （上期：YYYY09+'K',下期：YYYY03+'S'）  データ種別 =　期  今回値－前回値 |
| 24 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  合計  見込 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 |
| 25 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  合計  前回差 | 表示 | 年月 = 999900G データ種別 =　合計 今回値－前回値 |
| 26 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  最終見込  見込 | 表示 | 年月 = 99900M データ種別 =　最終見込 |
| 27 | SYU\_KI\_KAISYU\_TBL | KAISYU\_ENKA\_ZEI | (税額行)  最終見込  差分 | 表示 | 上記No6．最終見込 - 上記No4．合計 |

###### 編集ボタン押下

画面の再表示を行い、当月以降の見込をテキストボックスに切り替える

(前月以前の実績値、売上予定年月より先の月は表示のみ)。

最終見込や合計、期合計、前月以前の実績の項目に関しては切り替えを行わず、表示のみとする。

以下の項目をテキストボックスで表示を行う。

　・【契約金額】通貨コードごとの補正(※1)

　・【見積総原価】未発番NET(※1)

　・【見積総原価】製番損益(※1)

　・【売上原価】内訳

　・【回収金額】回収種別(通貨/税率/金種/回収区分)毎の各実績/見込月の回収金額

(外貨通貨は回収金額、回収円貨金額の両方が入力可能になる)

※1の金額は、権限(SYU\_KENGEN\_MST．FUNC\_CD)にKIKAN\_S\_EDITALL権限があるユーザーのみ入力可能。

###### 再計算ボタン押下

1. 保存処理(保存ボタン押下と同様の処理)を実行
2. 再計算処理パッケージ(SYU\_ANKEN\_RECAL\_MAIN．anken\_main)をCallする。

引数1(IN)＝該当案件の案件番号(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL．ANKEN\_ID)

引数2(IN)＝該当案件の履歴ID(SYU\_GE\_BUKKEN\_INFO\_TBL．RIREKI\_ID)

引数3(IN)＝更新日(システム日時を指定)

引数4(IN)＝更新者ID(ログイン者IDを指定)

引数5(OUT)＝再計算処理結果FLGを取得(0:正常終了 9:エラー)

※エラーの場合は保存処理の取消(ROLLBACK)を行い、画面上にエラーメッセージを表示。

###### 保存ボタン押下

入力された内容に従い、DBへ登録を行い、操作ログの登録を行う。

2018下期追加

1. **受注SP情報(SYU\_KI\_JYUCHU\_SP\_TBL)**

画面内の「受注情報 (見込月の)受注レート/受注SP」の登録を行う。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | JYUCHU\_RATE | 各対象年月・受注レートの入力値 |  |
| 2 | JYUCHU\_SP | 各対象年月・受注SPの入力値 |  |

2018下期追加

1. **受注NET情報(SYU\_KI\_JYUCHU\_NET\_TBL)**

画面内の「受注情報 (見込月の)受注NET」の登録を行う。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | JYUCHU\_NET | 各対象年月・受注NETの入力値 |  |

1. **期間損益TBL月別詳細（進行基準）TBL**

画面内の「契約金額内訳：契約金額」の登録を行う。期間毎に契約金額を登録する。

取得条件：期間損益TBL月別詳細（進行基準）．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL月別詳細（進行基準）．通貨コード =　各通貨コード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | 契約金額 補正 | 各対象年月・見込の 契約金額・補正 | 年月 = 各対象年月 データ種別 =　見込 |

1. **期間損益TBL見積総原価月別詳細TBL(未発番NET)**

画面内の「見積総原価：未発番NET」をデータ種別毎に登録を行う。

登録条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | 未発番NET | 各対象年月・見込の 未発番NET | 年月 = 各対象年月 |

1. **期間損益TBL見積総原価月別詳細TBL(製番損益NET)**

画面内の「見積総原価：製番損益NET」をデータ種別毎に登録を行う。

登録条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | 製番損益 NET | 各対象年月・見込の 製番損益NET | 年月 = 各対象年月 |

1. **期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細TBL**

画面内の「売上原価(今回)：内訳のカテゴリ別の原価」を登録する。

登録条件：期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．カテゴリコード =　各カテゴリコード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | NET | 各対象年月・見込の NET | 年月 = 各対象年月 |

1. **回収情報テーブル(SYU\_KI\_KAISYU\_TBL)**

画面内の「回収管理：各回収種別の回収金額/回収円貨金額)」を登録する。

登録条件：SYU\_KI\_KAISYU\_TBL．ANKEN\_ID = 引数．物件Key  
 SYU\_KI\_KAISYU\_TBL．RIREKI\_ID = 引数．履歴Key  
 SYU\_KI\_KAISYU\_TBL．CURRENCY\_CODE = 各回収データの通貨コード  
 SYU\_KI\_KAISYU\_TBL．ZEI\_KBN = 各回収データの税区分  
 SYU\_KI\_KAISYU\_TBL．KINSYU\_KBN = 各回収データの金種区分  
 SYU\_KI\_KAISYU\_TBL．KAISYU\_KBN = 各回収データの回収区分

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | 回収金額  (KAISYU\_AMOUNT) | 各対象年月・見込の 回収金額 | ・年月 = 各対象年月 |
| 2 | 回収円貨金額  (KAISYU\_ENKA\_AMOUNT) | 各対象年月・見込の 回収円貨 | ・年月 = 各対象年月  ・通貨によって登録値を変える。  円貨通貨(JPY)の場合：  回収金額(KAISYU\_AMOUNT)と同値を登録  外貨金額(JPY以外)の場合：  画面で入力した回収円貨額(円貨行)を登録 |
| 3 | 回収レート  KAISYU\_RATE | 各対象年月・見込の 回収円貨 | ・年月 = 各対象年月  ・以下の計算結果を登録：  KAISYU\_ENKA\_AMOUNT登録値÷KAISYU\_AMOUNT登録値  ※小数点第7位まで設定可能(以後の桁は四捨五入)  ※KAISYU\_AMOUNTの登録値が未入力でnullとなる  場合は計算せず、nullを登録  ※計算結果で10000以上となる場合(この項目の桁数オーバー)は、計算結果を設定せずにnullを登録 |

1. **(進行基準案件用)再計算パッケージをCall**

処理対象案件に対して、以下のパッケージをCallする。

SYU\_ANKEN\_RECAL\_MAIN.ANKEN\_MAIN(案件ID,履歴ID,処理FLG(０固定),処理結果ステータス)

1. **操作ログを登録**

登録マッピングは後述の「[操作ログの登録](#_操作ログの登録)」を参照。

###### (機能)見込差 翌月反映

現在勘定月の1月前の見込と実績差を翌月の見込に加算する。  
また、操作ログの登録を行う。(1.7参照)

1. 期間損益TBL月別詳細（進行基準） へ 契約金額内訳：契約金額　の登録  
   期間毎に契約金額を登録する。  
   取得条件：期間損益TBL月別詳細（進行基準）．物件Key　 =　引数．物件Key  
    期間損益TBL月別詳細（進行基準）．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
    期間損益TBL月別詳細（進行基準）．通貨コード =　各通貨コード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | 契約金額 補正 | 現在の勘定月・見込の 契約金額・補正 | ・対象レコード：年月 = 勘定月、データ種別 =　見込 ・対象月の元々の見込に加算する。 |

1. 期間損益TBL見積総原価月別詳細TBL へ 見積総原価　未発番NETの登録

見積総原価 未発番NETを登録する。  
登録条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | 未発番NET | 現在の勘定月・見込の 未発番NET | ・対象レコード：年月 = 勘定月、データ種別 =　見込 ・対象月の見込に加算する。 |

1. 期間損益TBL見積総原価月別詳細TBL へ 見積総原価　製番損益NETの登録

見積総原価　製番損益NETを登録する。  
登録条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
 期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考(条件) |
| 1 | 製番損益 NET | 現在の勘定月・見込の 製番損益NET | ・対象レコード：年月 = 勘定月、データ種別 =　見込 ・対象月の見込に加算する。 |

1. 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 へ 売上原価今回　内訳：カテゴリ別原価の登録（内訳横軸）

上記（4）の期間毎に建値額を登録する。  
登録条件：期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．カテゴリコード =　各カテゴリコード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考 |
| 1 | NET | 現在の勘定月・見込の 各カテゴリのNET | ・対象レコード：年月 = 勘定月、データ種別 =　見込 ・対象月の見込に加算する。 |

1. 期間損益TBL回収見込 へ　回収金額の取得（横軸）

上記①通貨コード毎に回収額を登録する。  
登録条件：期間損益TBL回収見込．物件Key　 =　引数．物件Key  
 期間損益TBL回収見込．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
 期間損益TBL回収見込．通貨コード =　各通貨コード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考 |
| 1 | 回収金額 | 現在の勘定月・見込の 回収金額 | ・対象レコード：年月 = 勘定月、データ種別 =　見込 ・対象月の見込に加算する。 |

続いて、現在勘定月前月データの見込を実績に置き換える。

1. 期間損益TBL月別詳細（進行基準） へ 契約金額内訳：契約金額　の登録  
   取得条件：期間損益TBL月別詳細（進行基準）．物件Key　 =　引数．物件Key  
    期間損益TBL月別詳細（進行基準）．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
    期間損益TBL月別詳細（進行基準）．通貨コード =　各通貨コード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考 |
| 1 | 契約金額 補正 | 勘定月の前月・見込の 契約金額・補正 | ・対象レコード：年月 = 勘定月前月、データ種別 =　見込 |

1. 期間損益TBL見積総原価月別詳細 へ　見積総原価　未発番NETの登録  
   登録条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
    期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考 |
| 1 | 未発番NET | 勘定月の前月・見込の 未発番NET | ・対象レコード：年月 = 勘定月前月、データ種別 =　見込 |

1. 期間損益TBL見積総原価月別詳細 へ　見積総原価　製番損益NETの登録  
   登録条件：期間損益TBL見積総原価月別詳細．物件Key　=　引数．物件Key  
    期間損益TBL見積総原価月別詳細．履歴Key　=　引数．履歴Key

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考 |
| 1 | 製番損益NET | 勘定月の前月・見込の 製番損益NET | ・対象レコード：年月 = 勘定月前月、データ種別 =　見込 |

1. 期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細 へ 売上原価今回　内訳：カテゴリ別原価の登録  
    （内訳横軸）  
   登録条件：期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．物件Key　 =　引数．物件Key  
    期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
    期間損益TBL(原価)カテゴリ別月別詳細．カテゴリコード =　各カテゴリコード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考 |
| 1 | NET | 勘定月の前月・見込の 各カテゴリのNET | ・対象レコード：年月 = 勘定月前月、データ種別 =　見込 |

1. 期間損益TBL回収見込　へ 回収金額の登録（横軸）  
   登録条件：期間損益TBL回収見込．物件Key　 =　引数．物件Key  
    期間損益TBL回収見込．履歴Key　 =　引数．履歴Key  
    期間損益TBL回収見込．通貨コード =　各通貨コード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ | |
| カラム | 画面項目 | 備考 |
| 1 | 回収金額 | 勘定月の前月・見込の 回収金額 | ・対象レコード：年月 = 勘定月前月、データ種別 =　見込 |

1. 収益物件TBLの登録  
   登録条件：収益物件TBL．物件Key　=　引数．物件Key  
    収益物件TBL．履歴Key　=　引数．履歴Key  
    収益物件TBL．物件Rev　=　引数．物件Rev

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | データベース | 登録データ |
| カラム | 登録内容 |
| 1 | 見込差反映済 | ‘1’ |

###### 操作ログの登録

登録等の画面操作を行った際に、操作ログ(OPERATION\_LOG)の登録を行う。  
登録マッピングは以下の通り。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | データベース | | 登録データ |
| テーブル | カラム | 登録内容 |
| 1 | 操作ログ | 操作を認識する文字列 | ・画面保存：SAVE\_ONLINE  ・見込差翌月反映：COPY\_SABUN |
| 2 | 操作ログ | 操作対象ID | ・画面保存：20  ・見込差翌月反映：20 |
| 3 | 操作ログ | 操作対象を認識する文字 | KIKAN\_S |
| 4 | 操作ログ | 操作日時 | SYSDATE |
| 5 | 操作ログ | 操作者（統一ユーザID) | ユーザID |
| 6 | 操作ログ | 操作者氏名 | ユーザ名 |
| 7 | 操作ログ | 操作者のJOBグループID | JobGrを兼務しているユーザーはNull |
| 8 | 操作ログ | 操作者のJOBグループ名 | JobGrを兼務しているユーザーはNull |
| 9 | 操作ログ | 操作者の所属部課コード | 所属部課コード |
| 10 | 操作ログ | 操作者の所属部課 | 部課名 |
| 11 | 操作ログ | 備考 | 案件ID |

###### 各ボタンの表示権限について

ユーザーの所属事業部＋JobGrにより、各ボタンの表示/非表示の判断を行う。

1. ログイン者が参照可能な権限コード(SYU\_KENGEN\_MST．FUNC\_CD)の取得方法は別紙「【共通】共通仕様.doc」の”権限取得”を参照。
2. 各ボタン、タブのFUNC\_CD対応は以下の通り(FUNC\_CDが取得できない場合は非表示)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 区分 | ボタン・タブ名称 | FUNC\_CD | 備考 |
| 1 | タブ | 最終見込損益 | SAISYU |  |
| 2 | タブ | 期間損益 | KIKAN\_S | 進行基準案件の場合のみ |
| 3 | タブ | 期間損益 | KIKAN\_I | 一般案件の場合のみ |
| 4 | タブ | 項番一覧（期間） | KIKAN\_ITEM |  |
| 5 | ボタン | 編集 | KIKAN\_S\_EDITALL　or KIKAN\_S\_EDITNET | 2権限の何れかを保持していればボタンを表示する。 |
| 6 | ボタン | 履歴表示 | KIKAN\_S\_RIREKI |  |
| 7 | ボタン | 詳細情報 | KIKAN\_S\_INFOEDIT |  |
| 8 | ボタン | 機能 | KIKAN\_S\_FUNC |  |
| 9 | ボタン | 最新値更新 | KIKAN\_S\_UPDATE |  |
| 10 | ボタン | BookMark登録 | KIKAN\_S\_BOOK\_ON |  |
| 11 | ボタン | BookMark解除 | KIKAN\_S\_BOOK\_OFF |  |
| 12 | ボタン | ヘルプ | KIKAN\_S\_HELP |  |
| 13 | ボタン | 閉じる | KIKAN\_S\_CLOSE |  |
| 14 | ボタン | 再計算 | KIKAN\_S\_RECAL |  |
| 15 | ボタン | 見込編集/ダウンロード | KIKAN\_S\_DL |  |
| 16 | ボタン | 見込編集/アップロード | KIKAN\_S\_UP |  |
| 17 | ボタン | 保存 | KIKAN\_S\_SAVE |  |
| 18 | ボタン | 機能/収益情報編集 | KIKAN\_S\_INFOEDIT |  |
| 19 | ボタン | 機能/見込差翌月反映 | KIKAN\_S\_RELOAD |  |
| 20 | ボタン | 機能/回収種別編集 | KIKAN\_S\_KAISYU\_EDIT |  |
| 21 | ボタン | 完売実績入力 | KANBAIJ\_DISP |  |